

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ASWITH (アスウィズ) 児童発達支援		公表日		R7年 2月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	4	静の活動では落ち着いて取り組む事ができる空間になっている。個別訓練室を設けている。	曜日にはよすが預かり児童が多い日は狭く感じる。空間をより工夫したり、個別訓練室の開放を検討していきたい。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	1	必要定員以上の職員配置を行い支援に従事する事ができている。	預かり児童の人数や、特性によっては1対1になる事もあり手一杯にある場面もあるため、現場での職員の持ち場等の連携を行っていく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	2	パーテーション等を利用し、午睡・活動・食事など分かりやすく環境設営が行われている。	蛇口が遠いため補助器具の設置を検討する。クールダウンのできるよう個別で落ち着ける空間の工夫の検討を行ってきたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	2	分担し掃除等をおこなうと共に区画ごとや食事後、活動後にも清掃し、清潔を保っている。	今後も衛生面には十分に注意し、清潔で心地よい空間作りを行ってきたい。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		個別訓練室を設けているため、必要に応じて使用しクールダウンや集中して活動できる空間の提供が行えている。	今後も児童が安心して、活動を行ったり、気持ちの切り替えができるよう臨機応変に使用していきたい。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	3	職員会議や随時意見交換を行う事ができている場を設けている。	定期的な時間の確保を行い、職員間で周知していけるようにしていきたい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	話し合いの場を設けている。	時間の確保を行い、保護者様のニーズに寄り添い業務改善に努めていきたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		職員会議や、グループ連絡を通し職員周知を図っている。	今後も職員が意見を出しやすい職場環境を整え、周知理解に努めていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	4	監査等で指導を受けた内容を職員周知している。	今後も職員周知を図り業務改善を行ってきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	2	リタリコの研修動画を利用し事業所内研修を行っている。	事業所内研修の継続を行い、地域受講も今後より増やしていけると良い。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		リタリコを利用している。	今後もわかりやすいプログラムの作成に取り組んでいきたい。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10		担当者会議への出席や必要に応じて保護者様と面談を取り入れ計画を立てている。	今後も保護者様との密な連携を心がけ、ニーズに寄り添った支援計画の作成に取り組んでいく。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		全体でモニタリングを行い、計画に反映させている。	今後も計画案を元にケース会議を取り入れるなどし、より良い支援に努めていきたい。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		モニタリングを行い、支援計画書を作成し職員周知を図ったうえで支援に反映している。	職員会議等での支援の方向性の周知にも努めていきたい。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	1	日々の事業所での様子を一人一人支援経過として記入し、振り返り等も行えるようにしている。	今後も丁寧な支援経過の記入を心掛け、振り返りや成長の確認を行っていく。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		5領域の分類を行い適切な支援を心掛けている。モニタリングを行い、都度、支援内容の設定を行っている。	今後も全て項目にあげ、都度、支援内容の設定を行い保護者様と共有を図ってきたい。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		保育士が主となり、職員間で話し合いを行いながら季節を交えての活動や目的を持ったプログラムの立案を行っている。	今後も児童が楽しめる活動プログラムの立案を行ってきたい。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	2	月案と日案を通し活動プログラムの作成を行い、職種別で活動の担当を決め様々な活動を行っている。	今後も楽しい活動を提供できるよう職員一同計画し反映させていきたい。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10		日々集団活動を取り入れ、専門職による個別訓練を行っている。	今後も集団と個別での支援がわかる様に支援計画の作成に取り組んでいきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	1	職員間でミーティングをして役割分担をし、支援を行っている。	今後も朝礼を継続し引継ぎや連絡事項の共有を図り、連携して支援を行ってきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	8	必要に応じて会議の時間を設けている。遅番の職員で振り返りを行い、翌日の朝礼にて共有を図っている。	終了後の時間を設ける事が難しいため、遅番の職員での情報共有を継続し、今後も朝礼にて共有を図ったり、必要に応じてグループ連絡での共有を行ってきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		一人ひとり支援経過を記録し、職員間で共有を行い、必要に応じてケース会議を取り入れている。	今後も丁寧な記録を心がけ、支援に反映させていきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		各職員がモニタリングを行い、職員間で共有し計画書の見直しを行っている。	定期的なモニタリングは勿論、モニタリングを元に計画書の見直しを行っていきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		日頃の様子の共有を職員間で行い、事前に振り返りを行ったうえで担当者会議に参加している。	日頃の様子の共有と振り返りを徹底しどの職員でも参加できるよう徹底してきたい。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		担当者会議での関係機関との意見交換や、必要に応じて連携会議を行っている。保育所等の様子見学も随時受け、連携を図っている。	今後も関係機関との密な連携を図ってきたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		担当者会議の依頼をしたり、関係機関を訪問し情報共有を行っている。	個の支援の方向性を整えるためにも面談会議等を取り入れ、情報の共有を行ってきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1	移行に必要と思われる情報については共有を行っている。	今後も情報連携に努めていきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1		必要に応じて連絡相談を行い、助言をいただいている。	今後も連携を大切にし、連絡相談を行っていく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	7	公園等で一緒になった際に係る事がある。他機関の児童との活動機会を積極的に作ることはできていない。	交流の場を作る機会を作れるよう工夫し、考えていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		連絡帳を通して保護者に様子をお伝えし、必要に応じて電話やLINEを活用し共有を行っている。	今後も共有手段を最大に活用し保護者様との情報共有を図ってきたい。また、面談回数も増やし共通理解を深めていきたい。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	1	相談を頂いた場合はすぐに対応し、日頃より情報共有に努めている。また、支援場面の見学について随時受け入れを行っている。	情報共有と見学の受け入れに加え、今後は個別訓練の様子や参加もしていただけるよう発信していく。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	1	契約時に必ず対面で説明を行い、保護者様より同意を得ている。	今後も継続してきたい。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		担当者会議に参加し、意向の確認を行ったり、面談の時間を設け、ニーズの聞き取りを行っている。	今後も継続し、満足していただけるよう努めていく。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10		できるだけ対面で行うようにしているが、タイミングが合わない場合は電話連絡等で説明をお行い、計画書にサインを頂く事で同意を得ている。	今後も継続していく。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		日頃から情報共有を大切にし、保護者様より相談があった際は面談を持ちかけるなどし、迅速な対応を心がけている。	今後も親身になって寄り添って一緒に考えていきたい。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	4	親子遠征等で保護者同士で交流する機会を設けている。	保護者会等の開催はできていないため今後検討していきたい。また、レクリエーションの回数も増やしていけるよう検討していく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		できるだけ迅速な対応を心掛けているが、担当者が不在の場合は説明を行い、後日返答を返すようにしている。	今後も迅速な対応を心掛け対応していきたい。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10		毎月お便りを発行したり、ブログやInstagramの更新を行っている。	保護者様にもごまめに更新状況の共有を行ってきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		個人情報が記載されている物は保管庫にて鍵管理を行っている。	今後も十分に留意していく。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		できるだけわかりやすく発信し、文面にて残る様にやり取りを行っている。	今後も継続していきたい。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	7	週末に行われる地域イベントの参加を行うようにしている。	地域を巻き込んだ行事の開催は行えていないため今後検討していきたい。
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		各担当を決め、ファイリングを行い周知を図っている。定期的に訓練を行い保護者様に発信を行っている。
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	1	スムーズで迅速な避難を行えるように、月に1度必ず避難訓練を行っている。	今後も継続し災害に備えていきたい。
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10		事前に投薬依頼書の配布や感染症についてのプリントを配布し、保護者様と相談会議を行い個々でマニュアルの作成を行っている。	今後も不測の事態に備えて検討を行い、職員周知を図ってきたい。
48		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	1	事前にアレルギーについてのアセスメントを行い保護者の意向と医師の書面に基づいて対応を行っている。	今後も確認を行い職員周知を図り、対応していく。
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	1	危ないもの等は保管庫等にて管理し、ハサミ等は職員が側について支援をおこなっている。	ヒヤリハット等も都度改善し安全管理をおこなってきたい。
50		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10		子どもの安全確保については十分に注意している。	ご家族等への周知を今後しっかり行ってきたい。
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		ヒヤリハットの共有と、検討改善を毎回行っている。	今後も継続し再発防止に努めていく。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		虐待防止委員会を立ち上げ、定期的に職員研修を行い適切な対応をおこなっている。	今後も定期的な職員研修の場を設け対応していきたい。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10		契約時にやむを得ない場合の身体拘束については説明を行い、保護者様の同意を得ている。	今後も継続していく。	